

今秋、エリアを拡大して開催!!



見方や感じ方に
答えがないのが
現代アートの魅力

現代アートの魅力を実行委員会の皆さんは、「答えがないところ」と話します。「見方や感じ方も人それぞれ。なぜ、ここに展示物があるのか： 考えるところ、考えさせられるところに面白みや気付きがあります」

例えば、1本1万円の陶器の大根を並べた無人販売所（P3写真3参照）。高さ約10mもある巨大こけしの壁画（P5写真「無題」参照）。「こけしは、作家さんたちにも人気で、こけしにインスパイアされた作品があります」



▲土湯こけしに触発され、新しい作品が生まれていく

土湯を映す鏡になった作品もありました。「土湯俯瞰図」は、土湯の現在、過去、未来を、制作現場に來られた皆さんの話を聞きながら仕上げている公開制作でした。「昔の話は饒舌な」のに対して、未来になるとなかなか出てこないのが「悩み」という作家さんの話に「もしかしたらそれは土湯全体の悩みなかもしれない」と思ったそうです。



▲土湯俯瞰図

小さな温泉地から
広がる芸術祭に期待

2回目の開催になる平成26年度は、福島市と共催で土湯温泉町から土湯峠温泉郷、四季の里や、荒川流域まで会場を広げて開催する予定です。「福島市内の自然を含めた文化資源を、国内外で評価の高い現代アーティストの皆さん39組と協働してアートを身近なものにしていきます」



▲第2回開催に向けて5月には、参加予定アーティストによる現地視察が行われました

滞在制作のアーティストが地域住民と寝食交流を通して新しい関係づくりを進めたり、子どもを対象にした「こども・ビジネスモデルキャンパス」など、楽しいワークショップやシンポジウムも開催される予定です。山間の小さな温泉街に展示される現代アートを間近にすると、果たしてあなたは何を感じるでしょうか。福島市土湯温泉町から広がる芸術祭にご期待ください。

土湯こけしは東北3大こけしの1つ。こんなに大きくなりました!

実行委員会 今泉 強さん



第2回参加予定

(撮影/市民カメラマン 中山真波さん)

「無題」
SUIKO さん スイコ

世界で活躍しながらも地元広島のストリートシーンの活性化に心血を注ぐグラフィティアーティスト。グラフィティショップ兼スタジオ「dimlight」代表。廃墟となった旅館の11メートルの壁面にスプレーされたのは、伝統の土湯こけし。



第2回参加予定

(撮影/市民カメラマン 中山真波さん)

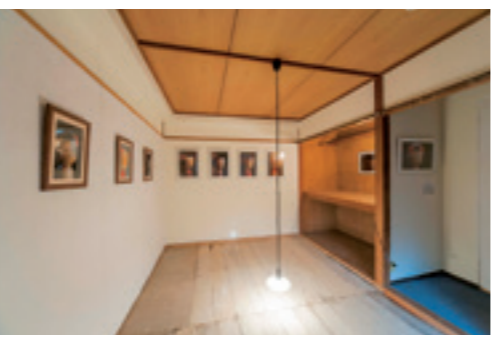
「差室」
阿部 乳坊 さん + 総合研究大学院大学
Nyubo Abe

今見ている世界をアートや科学の目線から見るための茶室。人々の考えの「差」がその空間には現れます。開催期間中は「差の湯の会」を開催し自然科学研究者とアートについて語り合いました。

青年部と町のみんなが協力して素敵な茶室を作りました!



実行委員会 渡邊 利生さん



第2回参加予定

(撮影/宮本和之さん)

「木でこの肖像」
佐藤 一弘 さん
Kazuhiro Sato

土湯温泉町で80年以上続く写真館の三代目は、ライフワークとしてピンテーゼこけしのポートレートを撮影し続けている。木に宿された命の表情が豊かに表現されています。

土湯温泉在住のアーティスト! 土湯こけしにも会いに来てください!



実行委員会 渡邊 樹璃菜さん



(撮影/宮本和之さん)

「風神」
鈴木 喬 さん
Takashi Hokoi

炭焼きのために何度となく切られながらも数百年を生きたケヤキにつけられる愛称「山爺」。困難に負けずに生き抜いた山爺が風神となり蘇ります。

町の人の協力で、土湯の樹齢数百年の枯木が蘇りました!



実行委員会 相模 龍太郎さん

第2回「アラフドアートアニュアル2014」 39日間39アーティストが参加する、年に一度の芸術祭。

私たちはこれから書き記される歴史の中に生きています。まだ書き記せない未来と、書き記すべき過去を持ったこの土地で開催される芸術祭で、記録ではなく文化の記憶を作ります。急激に変わった町の景色とみんなの思考を、どのような思想で見ていくのか。「復興、元気、町おこし」といった定型化された言葉にとらわれない、現代美術の独立した展示で、その試みはなされます。

(総合ディレクター ユミソン)

会期：平成26年9月5日(金)～10月13日(祝・月)
会場：福島市西部(土湯地区/荒井地区/警梯・吾妻地区)
参加アーティスト(予定)
青山悟、アサノコウタ、阿部乳坊、有賀慎吾、飯山由貴、遠藤麻衣、河川遥、川田淳、北川貴好、葛谷允宏、佐々瞬、佐藤一弘、SUIKO、小西智恵+菅谷奈緒+A.Y.K.K.project、バーバラ・ダーリン、藤井光、増本泰斗、三田村光土里、鈴木喬、山本高之、松下徹、湯道、他 (敬称略)
主催：つちゆ芸術万華郷実行委員会 共催：福島市
助成：公益信託うつくしま基金、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団
問：つちゆ芸術万華郷実行委員会【榎元気アップつちゆ内】
☎024-594-5037
WEB：http://arafudo.net